

# 持続可能なみやざきの物流構築に向けた共同宣言

物流は生活（くらし）や経済活動を支える不可欠な社会インフラです。しかし、「物流の 2024 年問題」を契機に、顕在化したドライバーの長時間労働の実態や燃油価格高騰など、厳しい経営環境が続いている物流業界の課題は深刻化しており、これらが人手不足の原因となり、輸送能力の低下が懸念される事態を招いています。

物流が停滞・途絶することは、宮崎の農畜産物や工業製品などを県内外に円滑に輸送できず、外貨の獲得に支障をきたすことに繋がるため、本県の産業や経済を維持するためにも回避しなければなりません。

将来にわたって物流を安定的に維持・確保していくためには、県内の運送事業者はもとより、荷主企業や消費者が一致協力して、それぞれの立場で担うべき役割を再考し、物流が直面している諸課題に取り組むことが、今、求められています。

私たちは、関係者の総力を結集し、持続可能なみやざきの物流構築に向けて全力で取り組むことを、ここに宣言します。

## ◎ 荷主企業の取組として

1. 物流にかかる構造的なコストを理解し、パートナーである運送事業者と協力して持続可能な物流の実現を目指します。
1. トラックの発着時の体制を整え、荷待ちや荷役作業時間の縮減とともに、荷物の到着日時の弾力化等に努めます。
1. 運送事業者と連携して、生産性向上や物流の効率化に取り組み、県内産業の振興と物流全体での共存共栄を目指します。

## ◎ 運送事業者の取組として

1. 荷主企業と連携した物流の省力化等により、ドライバーの負担軽減に努めます。
1. 荷主企業、運送事業者の双方において、非効率な商慣行の見直しを行い、適正な取引環境のもとで、効率的な輸送サービスの実現を目指します。
1. 荷主企業の大切な貨物の運送に当たっては、安全で安心できるトラック輸送を実現するため、交通安全等の法令順守や環境保全・省エネ対策等に努めます。

## ◎ 消費者の取組として

1. 物流が日夜を問わず私たちの生活を支えていることを意識し、物流を維持していく上で適正な送料や納期について、理解を深めます。
1. 宅配便の再配達削減や、高速道路のサービスエリア及び道の駅等の休憩用の大型車駐車スペースを空けるなど、普段の生活の中で出来る物流への負担軽減に取り組みます。
1. 持続可能な物流の実現のために努力している荷主企業や運送事業者を応援します。

## ◎ 全体

- ・私たちは、「2024 年問題」を乗り越えるため、お互いが抱える課題等を「共有」し、労働時間の縮減や適正なコスト負担など、サプライチェーン全体で協力して取り組みます。
- ・私たちは、産地等における関係者が連携・協力して付加価値向上や稼げる力を高める「共創」により、物流に従事する人々が働きやすい環境の整備や物流の効率化を実現します。
- ・私たちは、「2024 年問題」という大きな変革をチャンスと捉え、宮崎の産業活動や経済が元気であり続けるために、将来にわたって持続可能なみやざきの物流を実現します。

令和 5 年 8 月 31 日

(荷主企業代表)

宮崎県経済農業協同組合連合会 園芸部 部長 **押川 和範**

(運送事業者代表)

株式会社キング運輸 取締役運輸部長 **山下 敬雄**

(消費者代表)

宮崎県地域婦人連絡協議会 副会長 **神谷 則子**